

中津川市	所属議員	松崎 誠
------	------	------

【活動選定項目】 国・県・市町で連携して取り組むテーマを設定	⑧ カーボンニュートラル(CN)への対応 (エネルギー政策、水素社会、電動車) ⑨ 誰もが自由に安心して移動できるモビリティ社会の実現 ⑩ 自動車整備士・ドライバーの更なる魅力向上	⑪ 地域への貢献活動 (例:部活地域移行、ボランティア団体の後継者育成) ⑫ 子育て支援策 ⑬ 行政の DX 推進施策 ⑭ 人手不足解消への対応(多様性や多文化共生への対応など)
--	---	---

具体的活動 (調査・研究含む)	①ゼロカーボンシティの推進 □7月に会派による行政視察を実施 ・視察先：青梅市 (詳細は右記報告書を参照ください) ■廃食用油の回収⇒家庭、店舗、給食調理場等の廃食用油を回収しバイオディーゼルの燃料 (BDF) を精製。区長会連合会の協力で 8 地区が回収。 ○回収実績 (単位：ℓ) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>※6月</td> <td>7月</td> <td>8月</td> <td>9月</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>回収量</td> <td>476.3</td> <td>417.9</td> <td>517.4</td> <td>集計中</td> <td>935.3</td> </tr> </table>		※6月	7月	8月	9月	合計	回収量	476.3	417.9	517.4	集計中	935.3	【図や活動の様子が分かる写真など】 <div style="text-align: center;">  </div> <table border="1" style="width: 100%; font-size: 0.8em;"> <tr><td>視察研修項目</td><td>青梅市におけるゼロカーボンの取り組みについて</td></tr> <tr><td>視察研修期日</td><td>令和6年7月17日(水)</td></tr> <tr><td>視察研修先</td><td>東京都青梅市</td></tr> <tr><td>視察研修参加者</td><td>細松直子 松崎誠 佐々木透 (東京都議会議員)</td></tr> <tr><td>視察研修目的</td><td>ゼロカーボンシティの推進に向けて、中津川市も区長会連合会との連携や商工会議所、北部工企、中部電力ミライズなどとの4者協定を結ぶなどの取り組みを行っているが、さらに具体的かつ先進的な取り組みを進めている青梅市の状況について視察を行った。</td></tr> <tr><td>視察研修内容</td><td> ・ゼロカーボンシティの実現に向けての青梅市としての取り組みの内容。 ・青梅ガス・(株) INPEX (旧帝国石油) との3社協定の締結や東京電力パワーグリッド(株)「ゼロカーボンシティの実現に向けた連携協定」を締結して以降の具体的な取り組み内容の計画やスケジュール。 ・EV や水素自動車など、環境への影響が少ない公用車の導入状況。 ・自然エネルギーの利用促進についての取り組み内容。 ・ゼロカーボンシティの取り組みについて市民への周知方法。 ・市職員への周知や意識改革などどのように行っているか。 ・新規に建設する給食調理場では ZEB 認証を取得したとのことですが、他の施設についてはどうか。 ・SDG's の取り組みは環境面でゼロカーボンシティの取り組みと関連性が高いと考えるが、他の所管などが連携しての取り組みはあるか。 </td></tr> <tr><td>視察研修のまとめ・所感</td><td> ・青梅市は中津川市と同様、民間企業などとの協定を締結して共同で各種取り組みを積極的に行っており、参考となった。特に(株) INPEX の協力が市民への環境研修会の開催などにはたいへん充実していた。 ・電気自動車の導入も平成 31 年度から進めており、現在は 50 台を利用している。導入には補助金を活用している。(次世代自動車振興センターCEV 補助金や東京都の給付金の利用) ・市役への車庫はプラグイン(強制ではなく後押し)を利用し、さりげない呼びかけステッカー、普及グッズなどを利用している。 ・「青梅市ゼロカーボンシティ推進本部」を設置し、全庁での取り組みを行っている。また職員には「エコアクション」の実施のため各自の取り組み内容とその進捗の振り返りを行い環境への意識付けを推進している。 ・その他、今後の公共施設の建設にあたっては「ZEB(ゼロエネルギービル)」の認証を受けられような取り組みも進んでいる。 </td></tr> </table>	視察研修項目	青梅市におけるゼロカーボンの取り組みについて	視察研修期日	令和6年7月17日(水)	視察研修先	東京都青梅市	視察研修参加者	細松直子 松崎誠 佐々木透 (東京都議会議員)	視察研修目的	ゼロカーボンシティの推進に向けて、中津川市も区長会連合会との連携や商工会議所、北部工企、中部電力ミライズなどとの4者協定を結ぶなどの取り組みを行っているが、さらに具体的かつ先進的な取り組みを進めている青梅市の状況について視察を行った。	視察研修内容	・ゼロカーボンシティの実現に向けての青梅市としての取り組みの内容。 ・青梅ガス・(株) INPEX (旧帝国石油) との3社協定の締結や東京電力パワーグリッド(株)「ゼロカーボンシティの実現に向けた連携協定」を締結して以降の具体的な取り組み内容の計画やスケジュール。 ・EV や水素自動車など、環境への影響が少ない公用車の導入状況。 ・自然エネルギーの利用促進についての取り組み内容。 ・ゼロカーボンシティの取り組みについて市民への周知方法。 ・市職員への周知や意識改革などどのように行っているか。 ・新規に建設する給食調理場では ZEB 認証を取得したとのことですが、他の施設についてはどうか。 ・SDG's の取り組みは環境面でゼロカーボンシティの取り組みと関連性が高いと考えるが、他の所管などが連携しての取り組みはあるか。	視察研修のまとめ・所感	・青梅市は中津川市と同様、民間企業などとの協定を締結して共同で各種取り組みを積極的に行っており、参考となった。特に(株) INPEX の協力が市民への環境研修会の開催などにはたいへん充実していた。 ・電気自動車の導入も平成 31 年度から進めており、現在は 50 台を利用している。導入には補助金を活用している。(次世代自動車振興センターCEV 補助金や東京都の給付金の利用) ・市役への車庫はプラグイン(強制ではなく後押し)を利用し、さりげない呼びかけステッカー、普及グッズなどを利用している。 ・「青梅市ゼロカーボンシティ推進本部」を設置し、全庁での取り組みを行っている。また職員には「エコアクション」の実施のため各自の取り組み内容とその進捗の振り返りを行い環境への意識付けを推進している。 ・その他、今後の公共施設の建設にあたっては「ZEB(ゼロエネルギービル)」の認証を受けられような取り組みも進んでいる。																						
	※6月	7月	8月	9月	合計																																													
回収量	476.3	417.9	517.4	集計中	935.3																																													
視察研修項目	青梅市におけるゼロカーボンの取り組みについて																																																	
視察研修期日	令和6年7月17日(水)																																																	
視察研修先	東京都青梅市																																																	
視察研修参加者	細松直子 松崎誠 佐々木透 (東京都議会議員)																																																	
視察研修目的	ゼロカーボンシティの推進に向けて、中津川市も区長会連合会との連携や商工会議所、北部工企、中部電力ミライズなどとの4者協定を結ぶなどの取り組みを行っているが、さらに具体的かつ先進的な取り組みを進めている青梅市の状況について視察を行った。																																																	
視察研修内容	・ゼロカーボンシティの実現に向けての青梅市としての取り組みの内容。 ・青梅ガス・(株) INPEX (旧帝国石油) との3社協定の締結や東京電力パワーグリッド(株)「ゼロカーボンシティの実現に向けた連携協定」を締結して以降の具体的な取り組み内容の計画やスケジュール。 ・EV や水素自動車など、環境への影響が少ない公用車の導入状況。 ・自然エネルギーの利用促進についての取り組み内容。 ・ゼロカーボンシティの取り組みについて市民への周知方法。 ・市職員への周知や意識改革などどのように行っているか。 ・新規に建設する給食調理場では ZEB 認証を取得したとのことですが、他の施設についてはどうか。 ・SDG's の取り組みは環境面でゼロカーボンシティの取り組みと関連性が高いと考えるが、他の所管などが連携しての取り組みはあるか。																																																	
視察研修のまとめ・所感	・青梅市は中津川市と同様、民間企業などとの協定を締結して共同で各種取り組みを積極的に行っており、参考となった。特に(株) INPEX の協力が市民への環境研修会の開催などにはたいへん充実していた。 ・電気自動車の導入も平成 31 年度から進めており、現在は 50 台を利用している。導入には補助金を活用している。(次世代自動車振興センターCEV 補助金や東京都の給付金の利用) ・市役への車庫はプラグイン(強制ではなく後押し)を利用し、さりげない呼びかけステッカー、普及グッズなどを利用している。 ・「青梅市ゼロカーボンシティ推進本部」を設置し、全庁での取り組みを行っている。また職員には「エコアクション」の実施のため各自の取り組み内容とその進捗の振り返りを行い環境への意識付けを推進している。 ・その他、今後の公共施設の建設にあたっては「ZEB(ゼロエネルギービル)」の認証を受けられような取り組みも進んでいる。																																																	
選択した項目 テーマ ①	※前期未報告分 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>今期件数</th> <th>累計</th> <th>補助額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>住宅用太陽光発電設置補助 (1万円/kw: 上限 4kw)</td><td>12</td><td>12</td><td>1,578,000</td></tr> <tr><td>住宅用蓄電池設置補助 (1万円/kwh: 上限 10kwh)</td><td>25</td><td>25</td><td>4,583,000</td></tr> <tr><td>住宅用燃料電池設置補助 (10万円/台)</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>V2H 設置補助 (10万円/基)</td><td>5</td><td>5</td><td>1,300,000</td></tr> <tr><td>次世代自動車導入補助 (10万円/台)</td><td>4</td><td>4</td><td>600,000</td></tr> <tr><td>薪・ペレットストーブ設置補助 (工事費 1/3: 上限 5万円)</td><td>1</td><td>1</td><td>250,000</td></tr> <tr><td>小水力発電 (工事費 1/3: 上限 15万円)</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>合計 (市単独分)</td><td>47</td><td>47</td><td>8,311,000</td></tr> <tr><td>住宅用太陽光発電 (県補助: 7万円/kw 上限 5kw)</td><td>15</td><td>15</td><td>6,020,000</td></tr> <tr><td>住宅用蓄電池 (県補助: 工事費 1/3 上限 25.8万)</td><td>13</td><td>13</td><td>4,624,000</td></tr> <tr><td>合計 (県補助分)</td><td>28</td><td>28</td><td>10,644,000</td></tr> </tbody> </table>	項目	今期件数	累計	補助額 (円)	住宅用太陽光発電設置補助 (1万円/kw: 上限 4kw)	12	12	1,578,000	住宅用蓄電池設置補助 (1万円/kwh: 上限 10kwh)	25	25	4,583,000	住宅用燃料電池設置補助 (10万円/台)	0	0	0	V2H 設置補助 (10万円/基)	5	5	1,300,000	次世代自動車導入補助 (10万円/台)	4	4	600,000	薪・ペレットストーブ設置補助 (工事費 1/3: 上限 5万円)	1	1	250,000	小水力発電 (工事費 1/3: 上限 15万円)	0	0	0	合計 (市単独分)	47	47	8,311,000	住宅用太陽光発電 (県補助: 7万円/kw 上限 5kw)	15	15	6,020,000	住宅用蓄電池 (県補助: 工事費 1/3 上限 25.8万)	13	13	4,624,000	合計 (県補助分)	28	28	10,644,000	① ゼロカーボンシティの推進・・・定期的な活動報告会等の実施から周知活動を拡大。 ② 再生可能エネルギーの導入促進・・・促進に向けた補助制度の調査研究、公用車の EV 化。
項目	今期件数	累計	補助額 (円)																																															
住宅用太陽光発電設置補助 (1万円/kw: 上限 4kw)	12	12	1,578,000																																															
住宅用蓄電池設置補助 (1万円/kwh: 上限 10kwh)	25	25	4,583,000																																															
住宅用燃料電池設置補助 (10万円/台)	0	0	0																																															
V2H 設置補助 (10万円/基)	5	5	1,300,000																																															
次世代自動車導入補助 (10万円/台)	4	4	600,000																																															
薪・ペレットストーブ設置補助 (工事費 1/3: 上限 5万円)	1	1	250,000																																															
小水力発電 (工事費 1/3: 上限 15万円)	0	0	0																																															
合計 (市単独分)	47	47	8,311,000																																															
住宅用太陽光発電 (県補助: 7万円/kw 上限 5kw)	15	15	6,020,000																																															
住宅用蓄電池 (県補助: 工事費 1/3 上限 25.8万)	13	13	4,624,000																																															
合計 (県補助分)	28	28	10,644,000																																															

